

委員長提供資料

鎌倉 第一小学校

【校舎配置図と周辺地図】



【学校周辺の航空写真】



鎌倉 第一小学校 【校舎】



学校敷地は、道路の区画から住宅や公共施設など何らかの建物を挟んだ内側にあり、ほとんど公道に面していないため、校舎が視認しにくい。これは東側に隣接する右手の鎌倉市鎌倉体育館と左手第一子ども会館の間の駐車場を介して眺める校舎。校庭に面してL字型に配される。



由比ヶ浜通り六地藏からの路地道から眺める校内。右側は敷地南西端に位置する体育館。



学校敷地北東端に位置する正門。商業ビルなどの並びの間に一歩引いた形で設置されている。



この体育館の南端部分だけが狭い路地に面して建ち、唯一外壁面が望める場所。。



学校敷地西側には江ノ島電鉄の線路が通っており、電車窓からも3階建ての校舎が望める。



学校敷地東側の若宮大路沿い、鎌倉体育館北側に伸びる校庭への路地道。敷地内で正門以外の唯一の出入り口だが通常は閉鎖している。

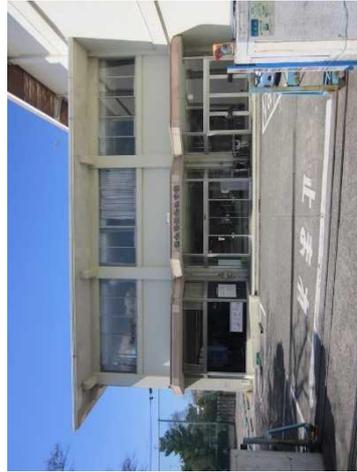
鎌倉 第一小学校 【周辺】



学校敷地は、県道 21 号線、鶴岡八幡宮への参道若宮大路から、鎌倉市鎌倉体育館、第一子ども会館を挟んで内側に位置する。駅から海への観光ルートでもある若宮大路の風景。歩道も整備され広く歩きやすい。



学校敷地の北側は、六地藏前から若宮大路の鎌倉女学院前へ抜ける道筋。幅員が狭い割にそこそこ交通量があるが、通学のメインストリートである。



若宮大路沿いに建つ鎌倉市鎌倉体育館。写真は建物南側に突出した正面玄関部分。この背後に第一小学校の校庭がある。



この通りに面した正門から道路に出る境界地点。路面への危険表示が目立つ。



鎌倉体育館の北側に学校敷地に通り返けられる細い路地があり、門が設置されているが通常は施錠されている。人通りも多い若宮大路に面しているためセキユリティは念入り。



学校敷地南東端に体育館が接する路地。唯一直接校舎建築が道路に面した部分であるが、出入り口などは設定されていない。

鎌倉 御成小学校

【校舎配置図と周辺地図】



【学校周辺の航空写真】



鎌倉 御成小学校 【校舎】



御成小学校舎は、元々あった木造校舎に合わせて東西に長い3棟が並び配置となっている。これらの校舎全貌を公道から視認するのは難しい。これは、市庁舎3階の窓からの眺望。元々木造の校舎を保存改修した北側の1棟第一校舎が見える。2階建てのため、後方の山並みが望める。



特徴ある冠木門の校門は今小路に面して建っている。観光で訪れる人々などに配慮して、門は潜れるよう開かれ、その内側に別途柵を設けて校地内のセキュリティにも配慮している。



構内敷地の西側を通る今小路沿い、御成商店街からの道が交差する御成小学校前交差点から見た木造の旧講堂。昭和初期の歴史的建造物として保全を待つ。本校のシンボルの存在。



正門から見た校内。奥には木造校舎保存時に新築された棟が見える。



南側の1胸を、学校敷地南側の門から望む。新築校舎には一般開放に備えたランチルームを配する。ここがその入り口となる。基本的に公開に備えた造りになっている点本校舎の特徴である。



敷地の西側に広がる校庭。その南端、鎌倉市中央図書館側にも門が設置されている。背後に見えているのは鎌倉市庁舎。

鎌倉 御成小学校 【周辺】



学校敷地東側の南北路である通称今小路。鎌倉時代からの古い道とされる。御成通り商店街からの通りがぶつかると字路は御成小学校前交差点と名付けられている。左は旧講堂。



冠木門の正門の北側に隣接して建つおなり子供の家だった旧図書館。戦前の建築物として保全活用される見通し。右手は市役所前交差点。



今小路に面して建つ正門はRC造ながら冠木門の子ザインとなる。学校前の歩道も整備され、歩行空間としても十分な幅員が確保されている。



今小路から学校敷地に沿って西に入っただ通り。この道に沿って南側には鎌倉市子育て支援センター、中央図書館などの公共施設が並ぶ。

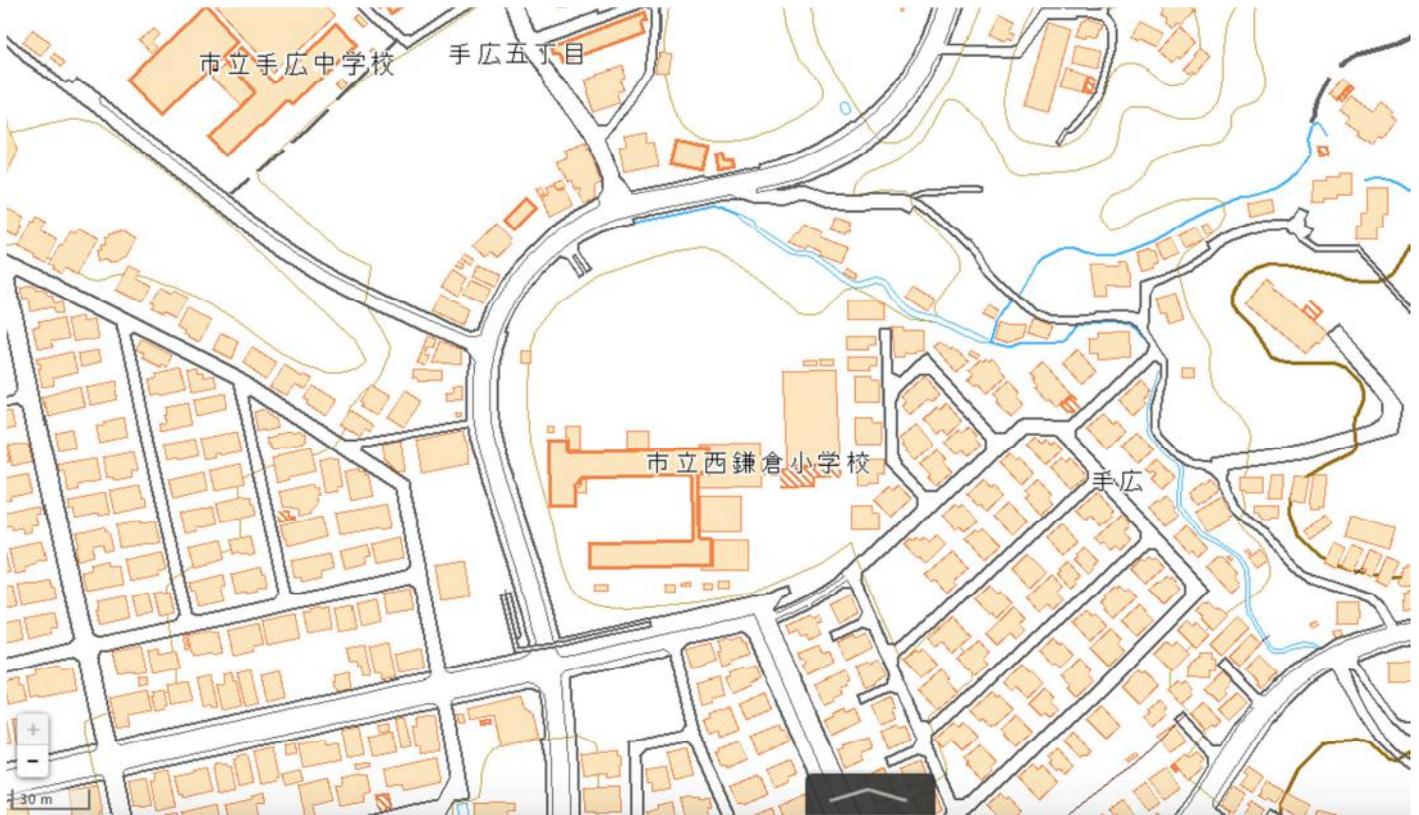


冠木門の内側に改めて設置されたセキュリティのための柵。インターホン、門衛所などが置かれている。正面奥が第一校舎玄関方面。

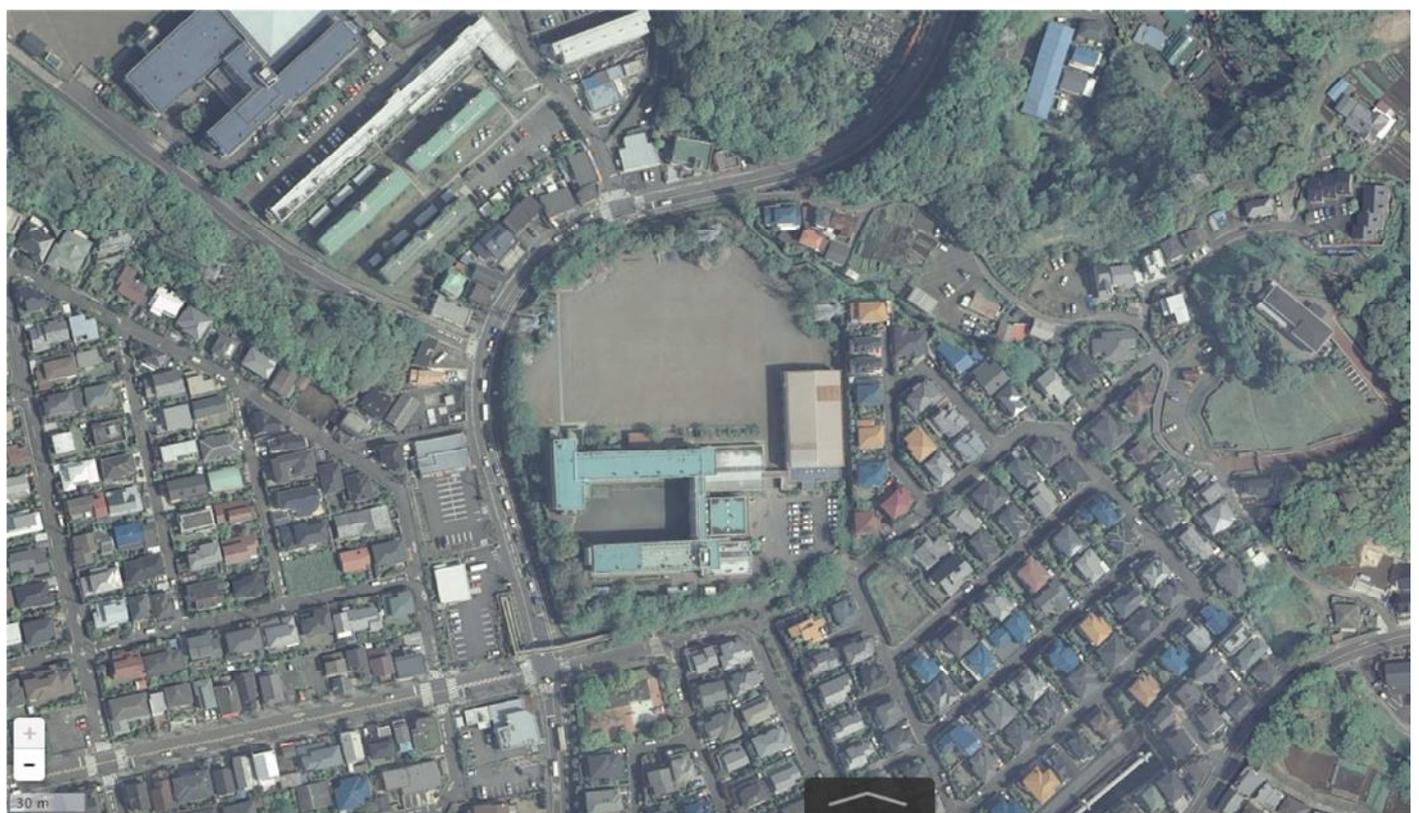


学校敷地西側に広がる校庭の西側の山並み。地続きで一体となった自然豊かな環境が特徴。

【校舎配置図と周辺地図】



【学校周辺の航空写真】



腰越 西鎌倉小学校 【校舎】



住宅街の高台の概ね円形の敷地の敷地に立地する西鎌倉小学校の校地。東西に長い4階建校舎の北側に広い校庭が広がる。



校地南東端に位置する正門には広い駐車場。背後北東端部は体育館が配される。その背後にも住宅地が迫っているのがわかる。



北側校庭の北から見た校舎はし字型をして右手の方に興行きがあるが、敷地はこの右端で標高が高いため、正門は逆の左端にある。



北側に設けられた広大な校庭へのアプローチを可能とするゲート越しに見る校庭と体育館。



住宅街の最上部、正門付近から眺めた校舎東端部分。



校庭北側の門。休日などは行事観戦のためにもわざわざ県道からの階段を登って来る方もいる。高台敷地なので空が広く開放的な印象の土地である。

腰越 西鎌倉小学校 【周辺】



学校は腰越と大船を結ぶ県道 304 号線の青蓮寺-西鎌倉間のカーブに囲まれた敷地に建つ。写真は鎌倉山方向からのアプローチ路。周辺は全方向昭和 40 年代に開発された新興住宅地。



西鎌倉小前交差点の県道 304 号線は交通量も多いため、学校の西側に広がる広大な新興住宅地の子どもの安全確保のために谷下に位置する県道をバスする歩道橋が設けられ、安全な通学に配慮されている。



鎌倉山からの下り坂から住宅街を経て遠望される校舎。高台の上に位置しているため、4階建て塔屋付きの外観は地域のシンボルの存在。



常に江ノ島への観光ルートとして渋滞が激しい県道 304 号線。右手の崖の上に西鎌倉小学校敷地がある。沿道の起伏が激しいこともあり、高台にありながら校舎全貌が視認されにくい。



学校敷地南側は大きな階段となっており、ここを上がって学校正門に至る配置構成。



学校敷地北側に位置する校庭を、県道沿位に設けられた階段上のゲート越しに見る。遊具の向こうに高圧鉄塔が見える。

【校舎配置図と周辺地図】



【学校周辺の航空写真】



腰越 腰越中学校 【校舎】



中学校敷地の南西側の通りから見た校舎。中央部は4階建て塔屋つき、手前は2階、奥は3階建ての配置。校舎前に校庭が広がる。



敷地西角地に建つ体育館。手前右手が校舎。



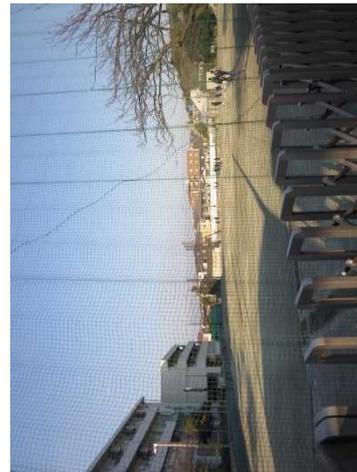
校舎の南西端は正面玄関となっている。2階へ上がる外階段が配される。



公道沿い部分では、この位置が最も校舎が接近している。校舎との間に駐車スペースがある。



西側の通り沿いを北側から見た校舎端部。周辺は低層の住宅街なので、塔屋は周囲からもよく視認できる。



校庭南西端に設けられたスライド式のゲート。公道と校庭との距離感が近い印象。右手奥にはプールがある。

腰越 腰越中学校 【周辺】



県道 304 号線、腰越から西鎌倉に向かう道路近くに校地は位置する。沿道には津西郵便局、やや離れて腰越行政センターなどがある。



県道から直交した中学校正門に続く道。幅員はそれほど広くはないが、奥の住宅地に続く生活道路として交通量は少ない。



304号線沿いの空き地と高いフェンスを介して見える校舎と校庭。



この通りに面して校庭沿いに設けられたスライド式のゲート。厳つい扉ではないため、公道と校庭との距離感が極めて小さい。地域に開かれた施設として相応しい構造といえよう。



沿道の電柱にはミニ防災拠点避難所として腰越中学校への進路が示されている。地域に頼られる公共施設として重要な位置付けを示すものである。



学校正門前に設けられた掲示板上に貼られた吹奏楽コンサートのポスター。こんなところにも地域との密着性を感じられる。

【校舎配置図と周辺地図】



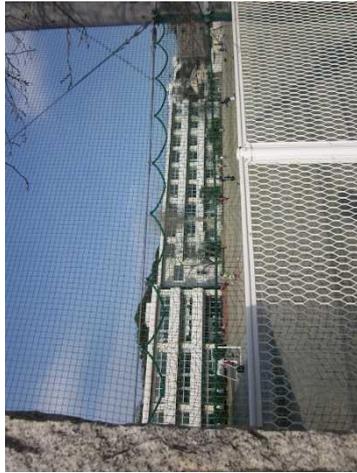
【学校周辺の航空写真】



深沢 深沢小学校 【校舎】



湘南モノレール下の道路、深沢小学校入り口交差点からの道が突き当たたる正門付近。東西に長い校舎群の西端に位置する。



学校敷地南側の川沿いに並行する道路から眺める校庭と校舎。3階建ての校舎は敷地一杯東西方向へ長く配置されている。左側、玄関に近い校舎の背後に4階建ての校舎がある。



3階建てと4階建ての校舎が並行する配置。正面玄関に面した写真の小屋根は、体育館への通路。



3階建て校舎の東側末端部分。ここにも校庭への出入り口ゲートが設定されていて、校舎へのアプローチは3方向からなっていることがわかる。



校舎と渡り廊下で結ばれた体育館。



3階建て校舎の北側に位置する4階建て校舎を望む。その裏手は山が迫っており、自然豊かな印象の環境である。

深沢 深沢小学校 【周辺】



湘南モノレール下の通り、湘南深沢駅南の深沢小学校入り口交差点からのアプローチ。道路幅員はさして広くないものの、安全確保のためガードレールが広めの歩道を確保して設置されている。



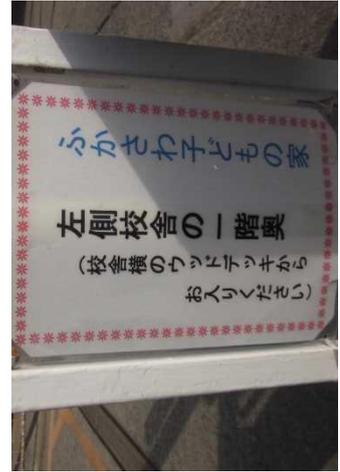
小学校敷地の南側には東西方向に流れる川があり、これに沿って並木道の歩道が並行している。その北側に校庭を挟んで校舎が並ぶ。



交差点から 150m ほどで学校敷地に達する。まずは三角形の空き地の向こうに体育館が遠望できる。



学校敷地北東隣には御霊神社があり、参道と鳥居が敷地沿に配されている。



この小学校は正門が南側の川沿いの道筋に門柱を設けているため事実上の正門となる部分に学校名表示がない。空き教室を利用してふかさわ子どもものを家運用している。

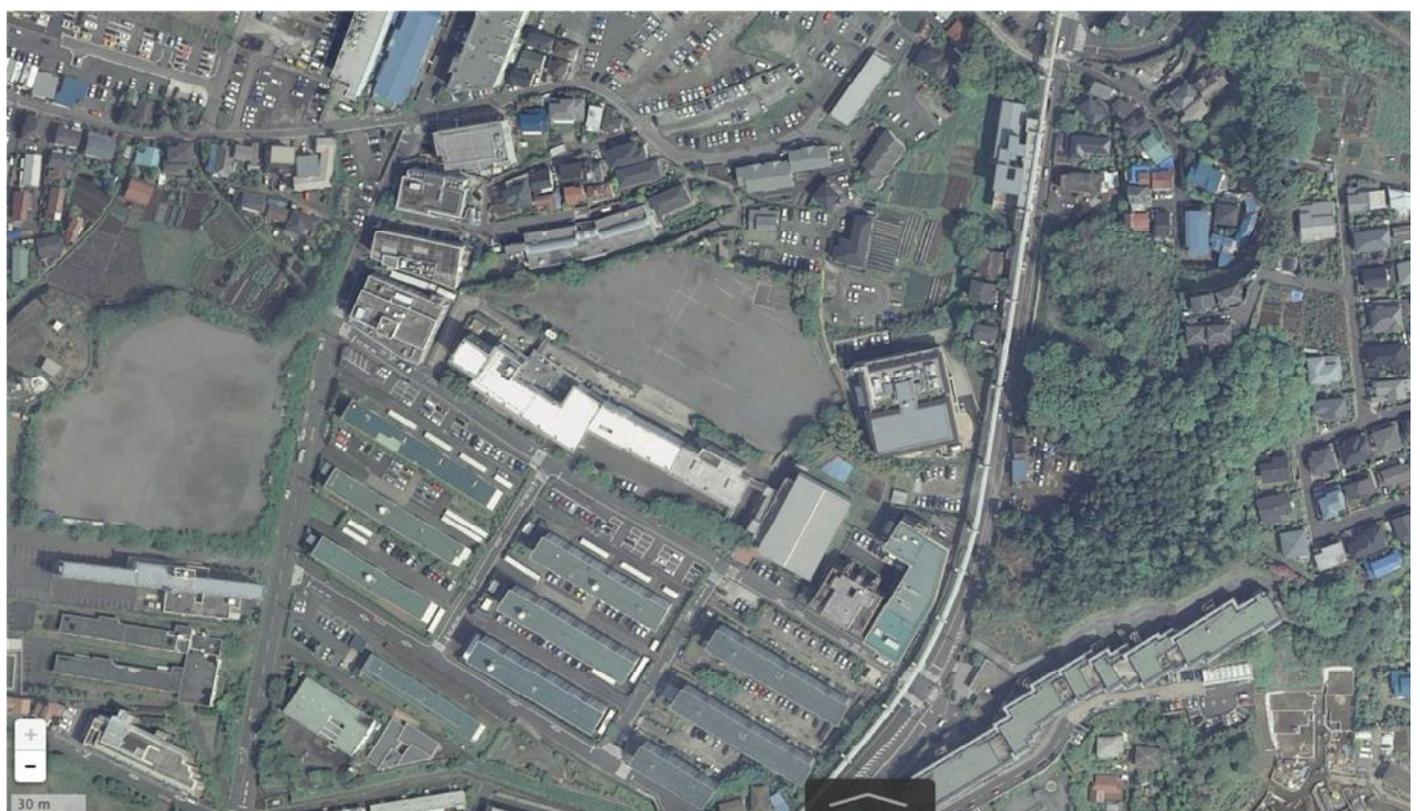


小学校前に設置された広域避難場所の案内看板。皮肉にも川沿いであるためか、校庭は避難場所指定対象にはなっていない。坂を上った深沢中学校が指定されている。

【校舎配置図と周辺地図】



【学校周辺の航空写真】



深沢 富士塚小学校 【校舎】



湘南モノレール下の通り交差点から西へ下る坂に面した校舎。体育館まで含めると東西に長い校舎全長は 80m 近くある。



学校前の道路に面して、まず東端には別棟の体育館が建つ。



4階建ての校舎正門付近。傾斜地のため校舎からの眺めが良い。



校舎の東端、校地の標高が最も高い地点に位置する。校舎とは通路で直結されているが、独立の構造物となっている。



校舎西北端部分。傾斜地に建つため、前面の下り坂に対して地盤容積が大さい。

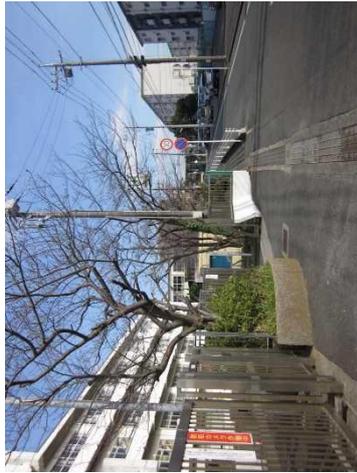


体育館には学校敷地前面道路に面して独立した出入口を設けており、地域開放には便利な造りとなっている。

深沢 富士塚小学校 【周辺】



学校敷地は、湘南モノレール湘南町屋駅から近い。モノレールを降り、江ノ島方面へ向かうと遠く校舎が遠望される。



小学校は西に面した傾斜地に建てっており、小学校前の通りは、モノレール下の交差点から緩やかな下り坂となっている。校舎前には桜並木が続く。



モノレール下の通りは幅員が狭い割には交通量が多いことで知られる。一方ではモノレール支柱が立つ歩道部分はそれなりの幅があり安全歩行が可能である。ただ、支柱が行く手を阻むという一面もある。



学校敷地西端部は、最も標高が低い位置となる。ここに正門とは別の門があり、校庭への入り口となっている。

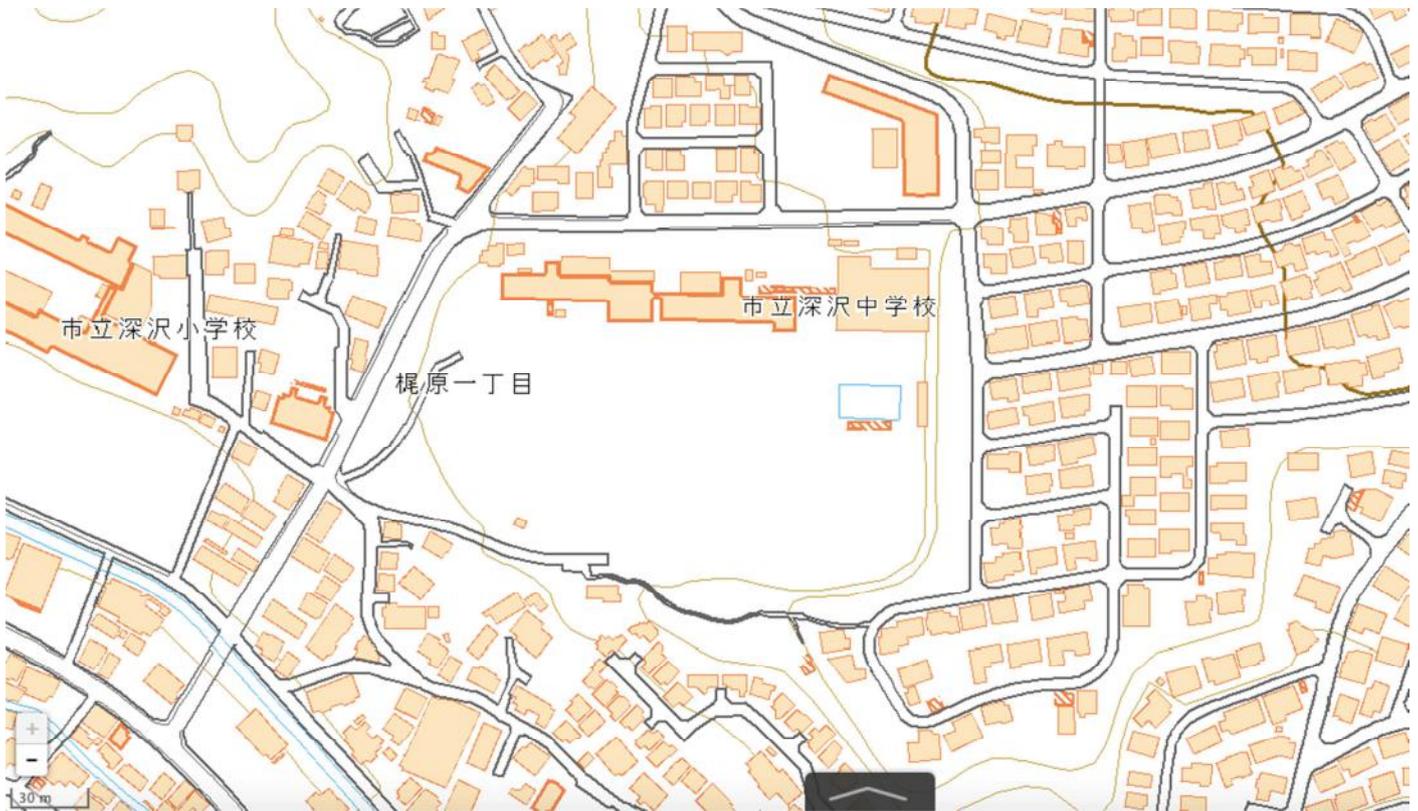


モノレール下の通りに富士塚小学校前の交差点信号があるが、そこから1本大船よりの交差点が実は学校前に続く通りである。沿道には三菱電機社宅をはじめとしたアパート、マンションが集まる住宅地。



校舎の北に校庭が広がる配置。学校敷地の北側にも住宅地が展開されており、一部に登り坂と門が設置されており、ここからも校庭にアプローチできるようになっていているが、通常は施錠されている。

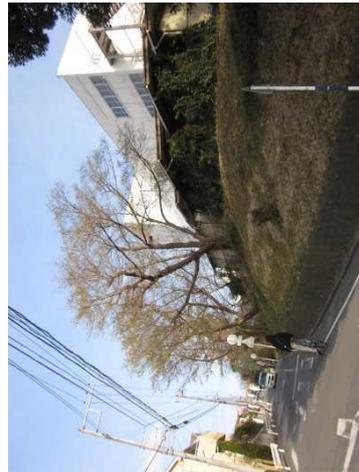
【校舎配置図と周辺地図】



【学校周辺の航空写真】



深沢 深沢中学校 【校舎】



深沢小学校の東端から深沢二丁目住宅地に登る坂の途中から見える中学校校舎西端部分。



4階建ての校舎であるが、前面道路との間に距離があり、豊かな植栽を挟むため圧迫感がない。正門前には周辺の旧町名に関する解説板が設置されているのが見える。



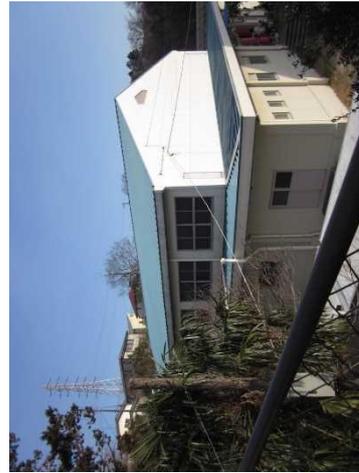
学校敷地は高台の傾斜地に位置し、正門は敷地北側中央部にある。このため、県道32号線からは坂を登りきったのアップローチとなる。



学校敷地北東端から校舎を見下ろす。校地の中でも標高が高い位置からは校舎を見下ろす位置関係になるため、4階建て塔屋付きの校舎も低くさえ見える。



坂の途中北側に面した中学校正門。校舎は東西に長い4階建てで、その中央部分付近が正門。校舎北側には駐車スペースが取られている。



同じ地点から敷地東端に建つ体育館を見下ろす。切妻屋根の載る体育館も公道からは見下ろされる位置関係である。

深沢 深沢中学校 【周辺】



県道 32 号線から大平山公園に向かう登り坂手前の角地にある、中学校校庭への門。校庭経由で学校にアプローチする道として開放されている。



坂を登りきって右へ折れると、深沢 2 丁目の住宅地に続く緩やかな登り坂がさらにも続く。途中右側に中学校の正門がある。道の左手は住宅街。



学校敷地は深沢 2 丁目の住宅街の中の傾斜地にある。校庭下に沿った道路は石積みので地盤をたどり住宅街へ延びている。



坂上から校舎を見下ろした風景。学校敷地内は立派な樹木が多いのが特徴。



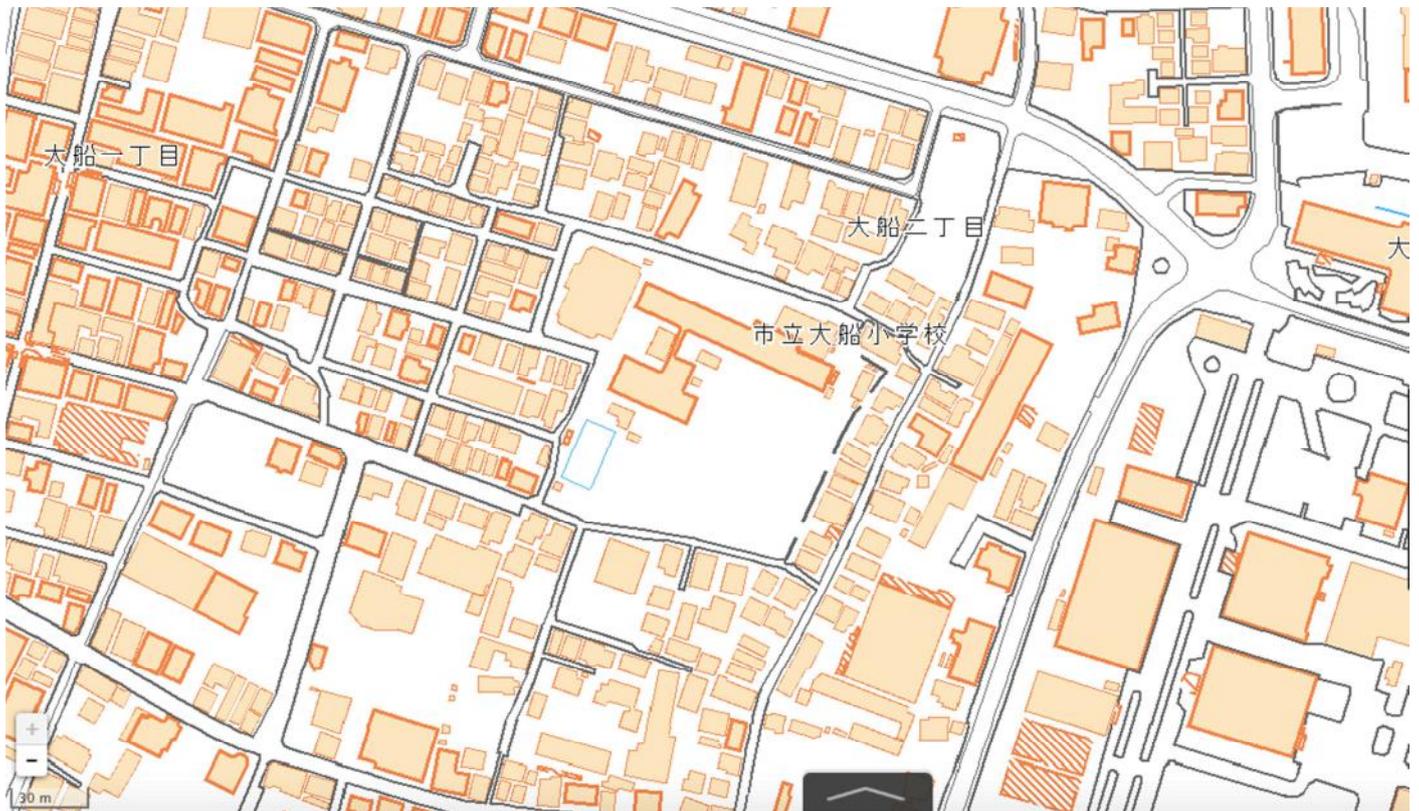
学校敷地西側の登り坂。鬱蒼とした森は校庭西端の位置する部分。



学校正門横に配置された現地の地名由来に関する解説板。市が設置したものが、この手のプレートを持つのはこの学校が唯一。

大船 大船小学校

【校舎配置図と周辺地図】



【学校周辺の航空写真】



大船 大船小学校 【校舎】



大船駅からの通りに突き当たる正門部分。奥に3階建手の北側校舎、右手に4階建ての南側校舎、左手前に体育館が見える。



4階建ての南側校舎の足元。校庭に面して植栽を施している。



学校敷地南側の通りから見た校庭と並行して建つ2本の校舎。



西北端、大船駅側に突出した校地に建つ体育館。西側の道路に面して出入り口があり、一般開放時の出入り口としても活用できる。



西側道路から見た南側校舎。フェンスの内側手前部分はプール。道の先に正門がある。



校庭南西端にある広い門。右手に路地が続く。門内左手にはプールがある。

大船 大船小学校 【周辺】



大船駅方面から正門へのアプローチ。時計塔部分は4階建ての南側校舎の西側側面。通りの突き当たり面に面した設計になっている。通りは車道としては突き当たりの行き止まりである。



学校敷地南側の道路。フェンス越しに校庭が見える。手前方向は三菱電機の大船体育館方面へ抜けるが、車はほとんど通らない。奥が大船駅のバスプール方面。



大船駅前バスプールからの道が建する校地南側。学校敷地に接する地点で急い道路が狭くなっている。



学校敷地北側の道路現況。右側フェンス内が小学校校舎。周辺住宅地への生活道路であり車の通りはほとんどない。



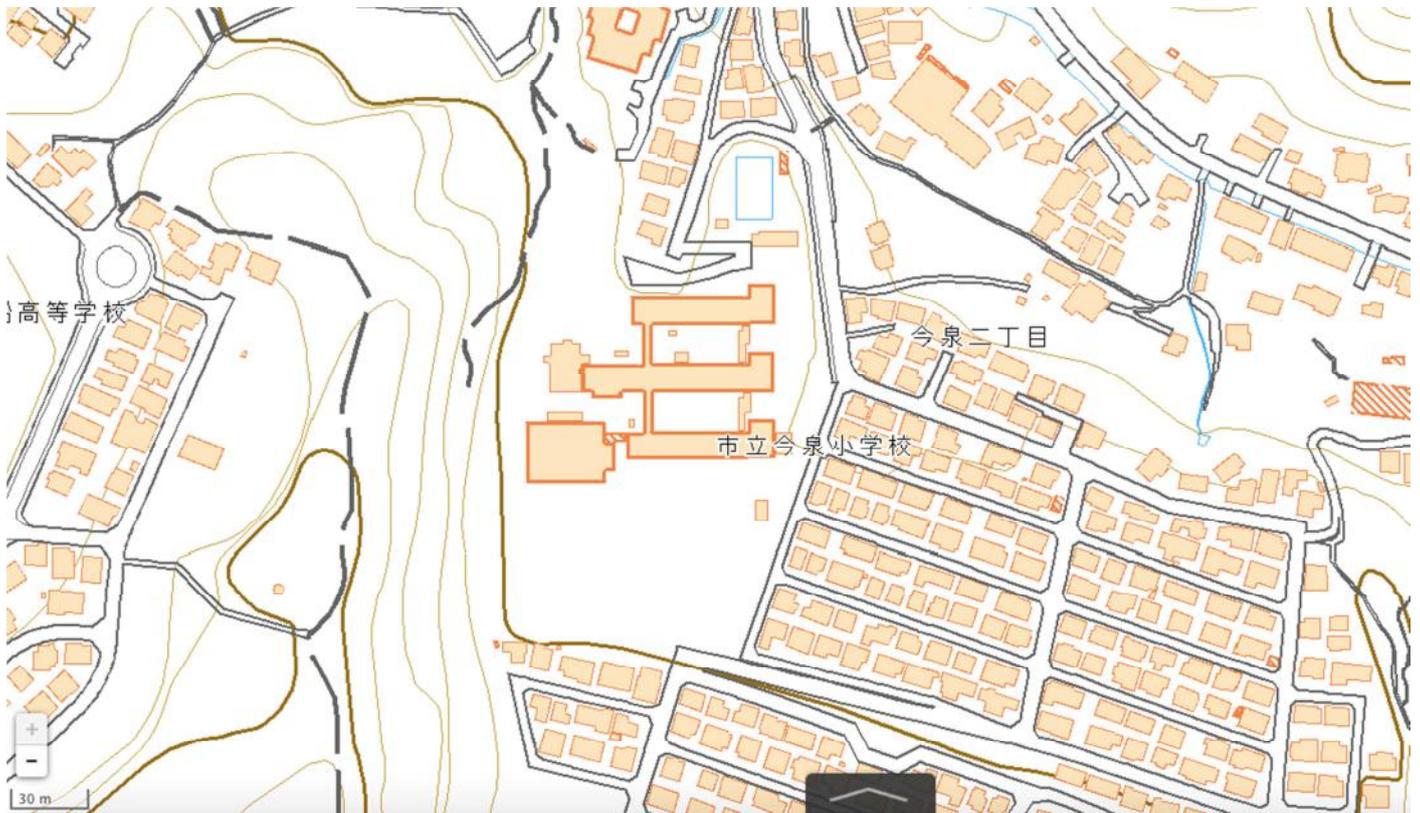
学校敷地の南隣にある大船第一子ども会館、子ども家の家。既存の公共施設が隣接している点は拠点施設としては有利。前庭も広く、交通量が少なく安心な空間である。



北側道路の突き当たりは、歩行者のみが通れる路地道で、三菱電機工場西側の道路に出られる。学校周辺一帯が、ほぼ歩行者スケールの道路構成である点特徴である。

大船 今泉小学校

【校舎配置図と周辺地図】



【学校周辺の航空写真】



大船 今泉小学校 【校舎】



七久保橋の先、大船消防署今泉出張所から上がる道沿いの正門から見た校舎。東西に長い3本の校舎が並列する構成。



写真の校舎は最も南側、街場からは奥の4階建て校舎で、この見ない側に校庭が広がっている。



南側校舎前からさらに南に広がる校庭へ上がるスロープ。基本的に南へ上がる傾斜地に設置された校地ゆえ、敷地内でも起伏差が大きいのが特徴。



住宅街の公道から見た学校敷地最奥部に位置する校庭。その南側には山並みが続く。



校庭南東端に設けられたトイレ。校庭内に校舎本体とは別にトイレが設置されているのは校庭開放や避難場所としても極めて有利と思われる。



今泉の街場からの登り坂途中から見える小学校敷地の土台部分。この構造体の上部に校地がある。上部手前はプールとなっている。

大船 今泉小学校 【周辺】



大船消防署今泉出張所から住宅街への登り坂途中で現れる学校敷地土台部分。右上の地盤面が水平なので、かなり急な登り勾配である。



公道に面したフェンスの一部に校庭への出入り口が設けられている。通常は閉鎖している模様だが、校庭開放や緊急避難時などは便利そう。



大船から緩急の登り坂が続き、学校敷地下のこの付近では標高が40mに迫る。



学校への登り坂途中には特別養護老人ホームふれあいの泉が建つ。住宅地を含めて閑静な環境である。

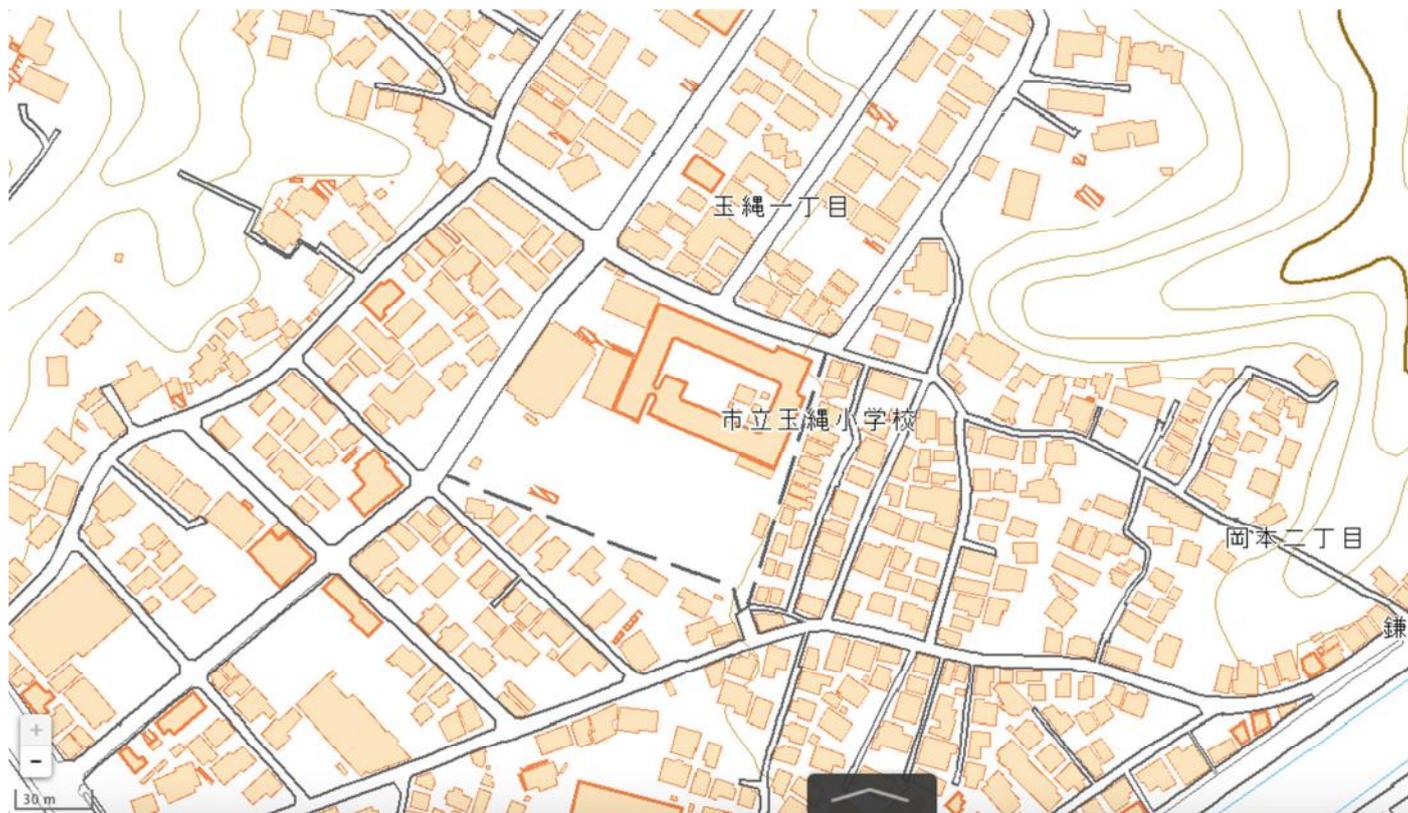


学校敷地東側の公道は今泉住宅地の道路の一部で、校地に沿っても登り坂が続いている。左手のフェンスは校庭との境界線。校庭は勾配の末端部に位置している。



小学校へ向かう登り坂から見下ろした今泉のまち。新興住宅地として休息に発展した街区である一方で、茅葺き屋根の農家建築なども残っている。

【校舎配置図と周辺地図】



【学校周辺の航空写真】



玉縄 玉縄小学校 【校舎】



学校敷地北西に位置する正門。3階建て、長方形の大きな校舎の西側が見える。右手平屋部分が昇降口。



敷地西側のバス通り沿いには体育館が接して片側一車線の道路に対してポリユーム感のある建物である。



真逆の南東方面校庭側から見た校舎。東西方向に長い立面。門は大船駅方面からの道に接している。



体育館の南西端の出入り口は、歩道に面して設置されている。一般開放時の入り口としても活用できる。



北側道路沿いから見た校舎。この通り沿いは、校舎が公道に最も接近した部分。



校庭南西端にある門。広い校庭に面しており、植え込み越しに児童の様子も見える。

玉縄 玉縄小学校 【周辺】



県道 402 号線、フラワーセンター前。歩道橋の手前、左手からバスが出てきた通りが小学校からの道筋。



バス通りを北上した正門前の信号のある交差点は、その名も玉縄小学校前。



402号線から折れた小学校西側の通り風景。ガードレール完備の歩道は安心して歩ける通学路である。植栽の背後が校庭。



交差点を右に折れた学校敷地北側の通り風景。周辺は密集した住宅地である。

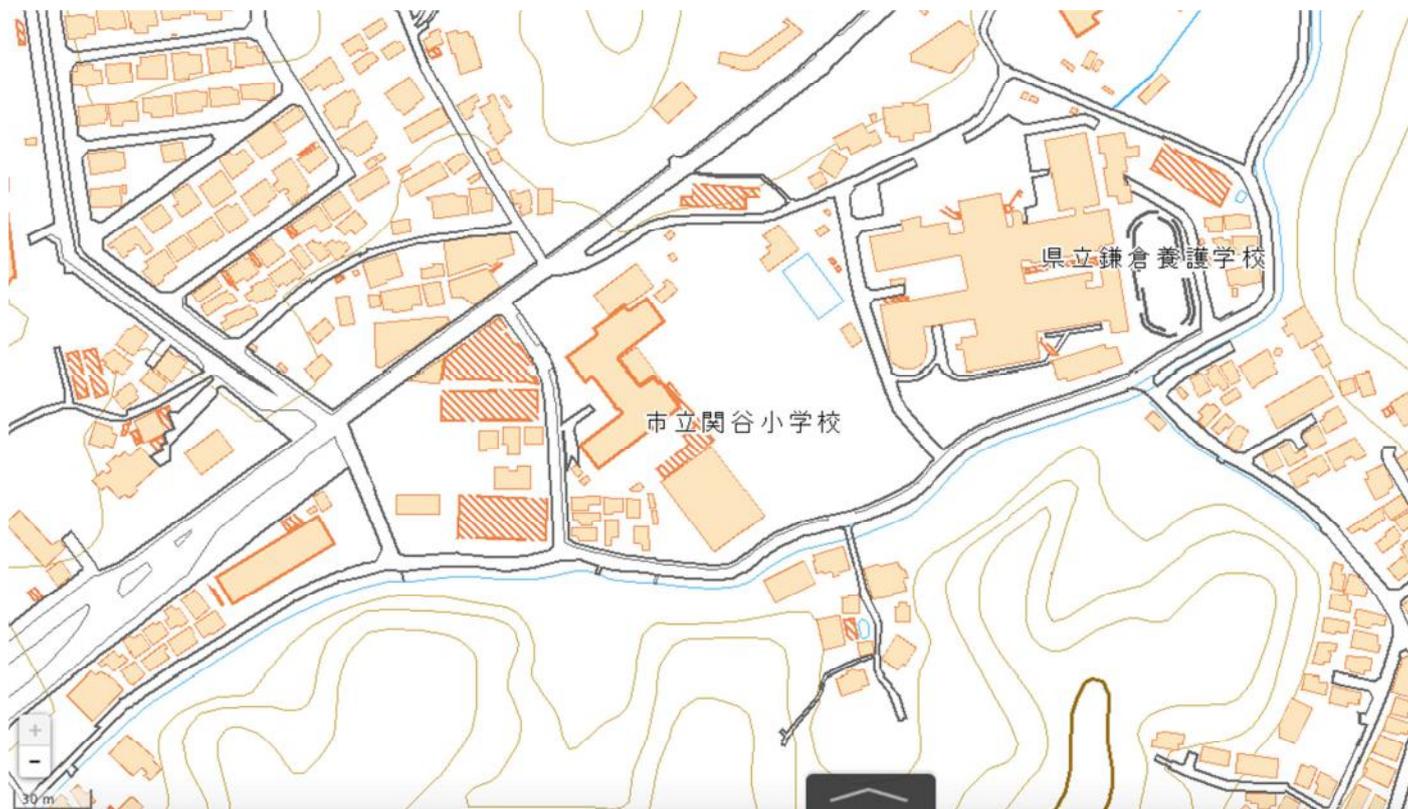


学校敷地南西端の門。植栽を挟んで校庭が見える。本学独特の特徴のある巨大な遊具が正面に見える。



学校敷地北東端には横断歩道があり、フェンスにも門が設けられている。従って、この小学校は学校敷地の4方角部に4箇所の入り口を持っていることとなる。地域に密着した関係性を期待できる。校庭東側には住宅が1列並んで配されている。

【校舎配置図と周辺地図】



【学校周辺の航空写真】



玉縄 関谷小学校 【校内】



西側正門付近から見る校舎。左右に4階の校舎を3階建のピロティが繋ぐ。その下が玄関。庇の出が深い表情の校舎。



北側のフェンス越しに見る校舎。さして大きくない4階建校舎が広い校地の中心に高密度で固まって建っている印象。



北端の校舎の向こうが県道312号線。正門前位置では交通騒音もない。



南側の体育館前には物置状の防災備蓄倉庫2棟と井戸がある。校舎周縁部のどの方位にも余裕がある印象。



校舎北側の表情。正面とは異なるデザイン。植栽を挟んで、北側は広い駐車場となっている。



北側には桜が植わる広い校庭あり。自然環境は豊かである。

玉縄 関谷小学校 【周辺】



学校敷地東側には、県立鎌倉養護学校が建つ。小学校よりはるかに規模が大きい。



北側には県道 312 号線が走る。道幅の割に交通量が極めて多い。周辺には資材販売店が並ぶ。この付近では歩道空間が少なく歩行は危険そう。



南側には川が流れ、対岸は住宅、畑地、山林と豊かな自然環境が隣接する。



県道 312 号線は大型トラックなどの通行も多く路側は到底通学路には見えにくい。フェンスの右側が校庭。

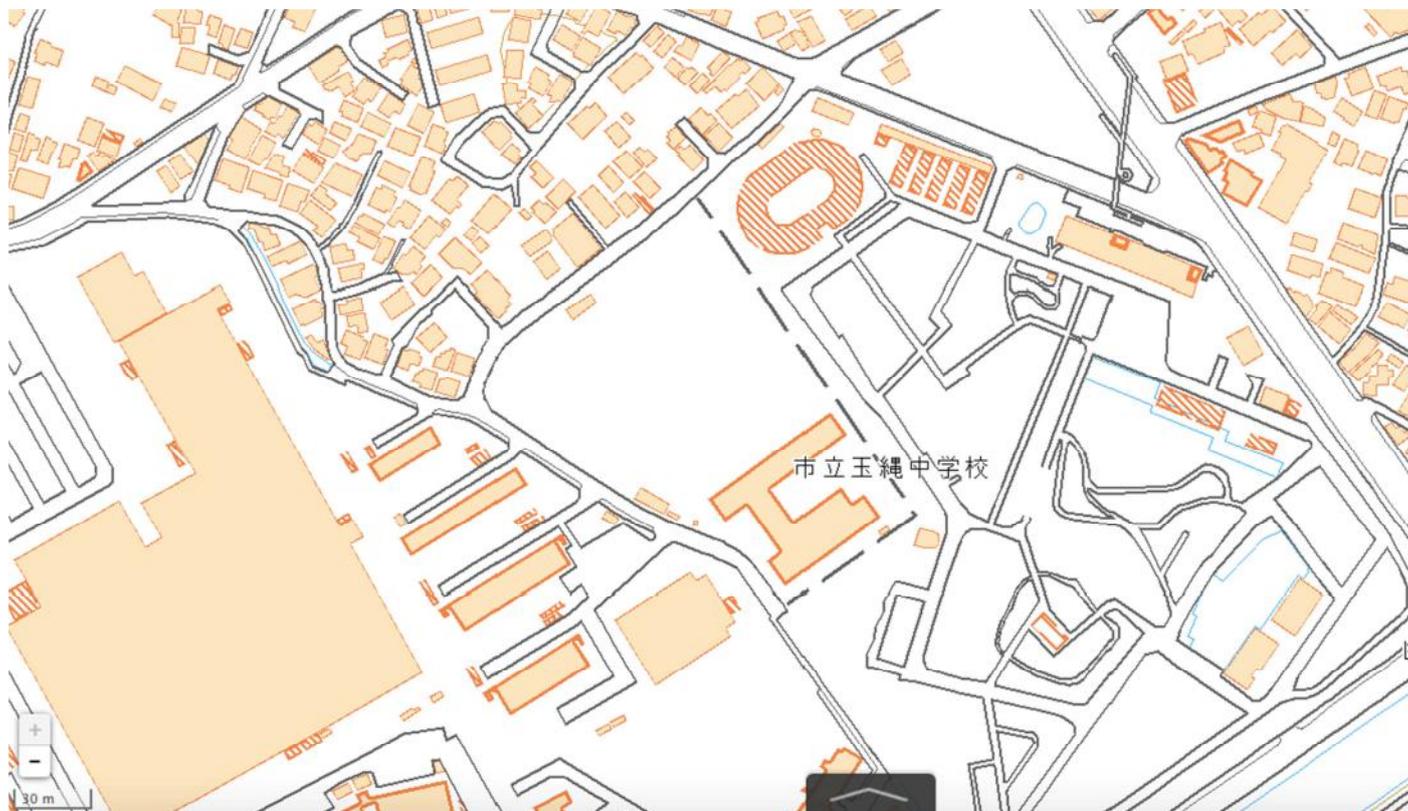


校地の南西側に隣接して工事資材販売店の資材置き場がある。工事の部分もあり雑然とした環境。

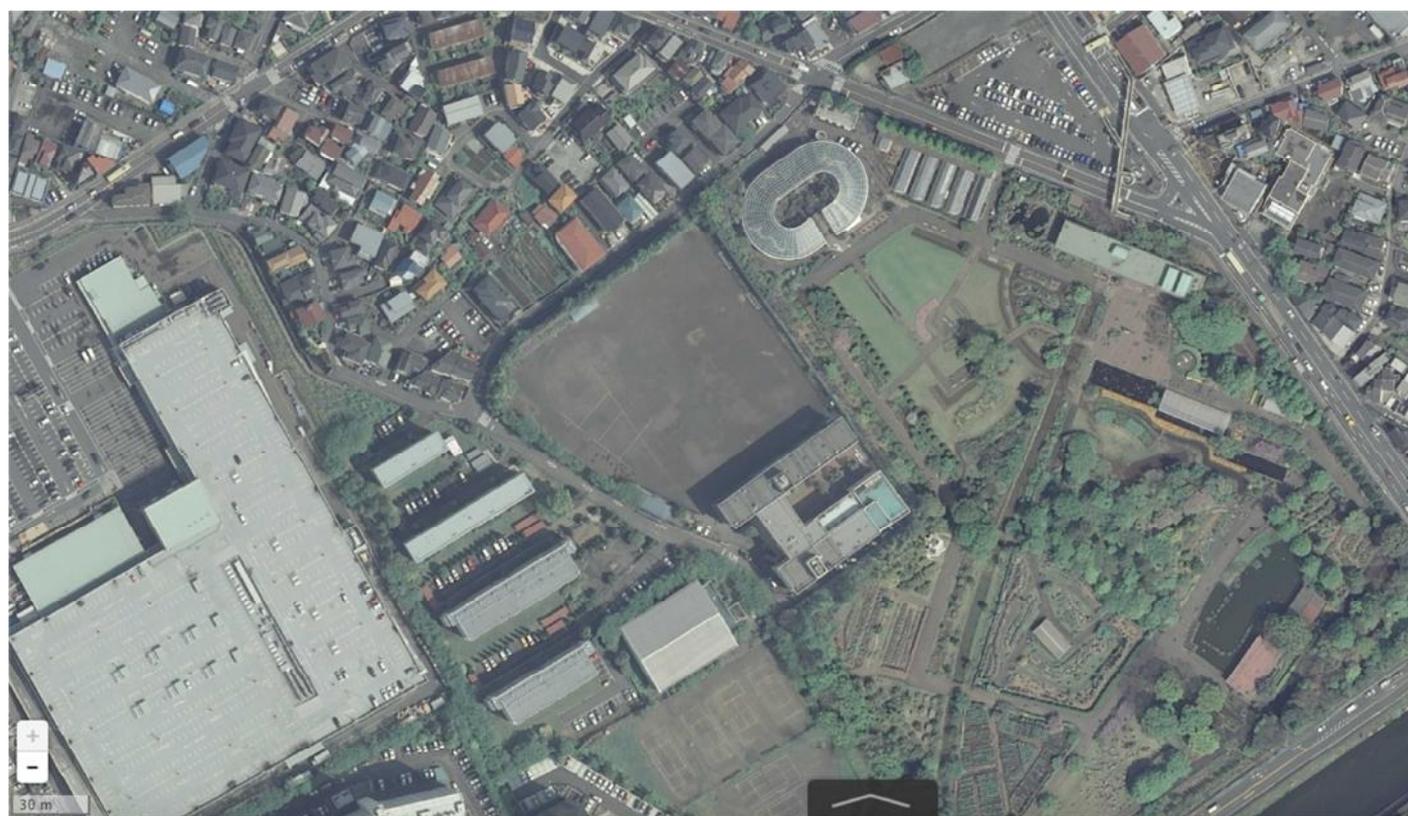


北端にはフェンスに沿って県立鎌倉養護学校にアプローチする分岐があるが、侵入路は狭く、県道の交通量も多いので、アプローチしにくそう。

【校舎配置図と周辺地図】



【学校周辺の航空写真】



玉縄 玉縄中学校 【校舎】



学校敷地西側からのアプローチで見えてくる校舎正面。敷地はフェンスで囲まれている。



北側の通りに設けられた入口から見た北側校舎は東西に長い配置である。その北側に位置する校庭が広々としている。



校舎は4階建2棟を繋ぐH字型。正面には外階段があり、上がった2階が職員室、受付となる。



正面玄関前の通りを挟んで、別棟の体育館がある。周囲は横浜国大植木住宅で、桜並木がある。



アプローチ見返し。車道としては行き止まりに当たるため、通過交通はほぼない。



北端道路に設置された門。通常は閉鎖されているが、フラワーセンター側に最も近いアプローチである。

玉縄 玉縄中学校 【周辺】



学校敷地西側からのアプローチ。左手が植栽を挟んで校庭。右手は横浜国大植木住宅。



正門からアプローチ路の見返し。右手が校庭、左は体育館から横浜国大植木住宅の植栽。ガードレールで歩道部分が確保されているが、道路自体は車道としては行き止まりのため、自動車交通はほとんどない。



緩やかにカーブを描く通学路。左側フェンスの向こうが校庭となる。



通りを挟んだ校庭の対面は横浜国大の職員住宅群。その背後はコーナン鎌倉大船モールとなる。立ち入り禁止看板が目立つ。



やがて4階建の校舎が見えてくる。フェンスの途切れが正門。



校庭北側に位置する県道 352 号線の玉縄中学校入口交差点。角地は神奈川県立フラワーセンターで、フェンス越しに温室が見えている。